

沖縄戦と被爆者運動

— 9. 9学習会と沖縄交流ツアーをふまえて —

ノーモア・ヒバクシャ記憶遺産を継承する会では、被爆70年の一昨年、「ヒロシマ・ナガサキは何だったのか」を大テーマに、被爆者運動から学び合う学習懇談会をシリーズで開催してきました。

シリーズ8回目の今回のテーマは、「沖縄戦と被爆者運動—9. 9学習会と沖縄交流ツアーをふまえて—」。原爆被害への国家補償制度を求めつづけてきた日本被団協は、昨年結成60年事業として、12月に沖縄交流ツアーを実施しました。国の「受忍」政策をのりこえるため、ここ数年積み重ねてきた沖縄戦や空襲被害についての学習や連帯の行動をふまえ、それをさらに発展させ、民間人の戦争被害に対する国家補償をどのように実現していくか、その方向性をさぐってみたいと考えています。

どなたでも参加できます。ぜひ多数お誘い合わせでご参加ください。

記

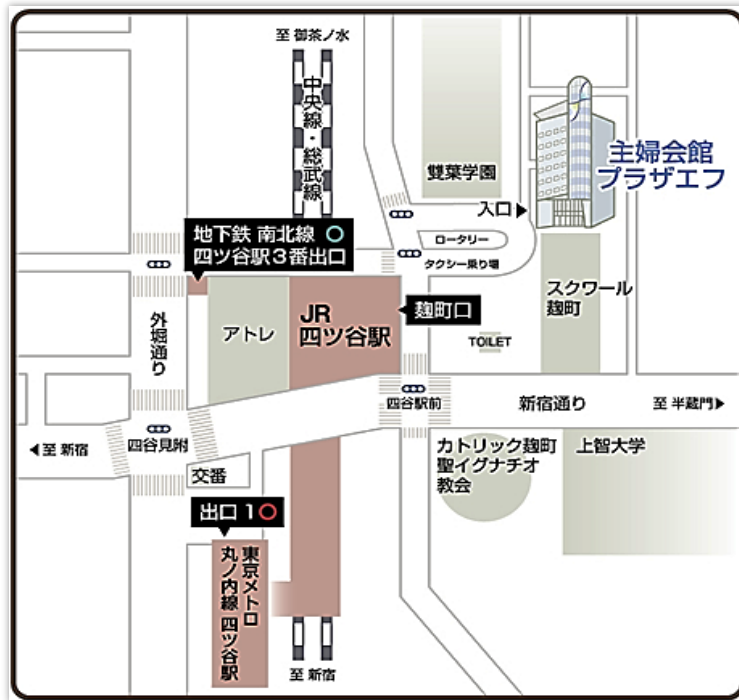
- ◆ 日 時 2017年4月8日(土) 午後1:30~4:30
- ◆ 場 所 主婦会館 プラザエフ (5階 第1・2会議室) 【裏面地図参照】
東京都千代田区六番町15
JR中央・総武線、東京メトロ丸の内線・南北線「四ツ谷」駅 麴町口正面
- ◆ 問題提起者：木戸 季市氏 (日本被団協事務局次長、岐阜県原爆被害者の会事務局長)
5歳のとき、長崎の旭町(爆心から約2km)で被爆。戦後「わたしは、少しずつ被爆者になってきた」という。1991年に岐阜県の被爆者の会(岐朋会)を再建し、2008年から日本被団協事務局次長。長年とりくんできた同和問題の経験から、人権と平和の深いつながりを実感し、その観点からも問題を掘り下げてみたい、と語っています。
- ◆ 定 員：50人 [※ 準備の都合上、できるだけ事前にお申し込みください]
- ◆ 参加費：1,000円(学生・院生：500円、高校生：無料)
- ◆ 申込み方法 裏面「参加申込書」(FAX)またはe-mailでお申し込みください。

主 催：ノーモア・ヒバクシャ記憶遺産を継承する会

〒102-0085 東京都千代田区六番町15 プラザエフ6F TEL/FAX 03-5216-7757

E-mail: hironaga8689@gmail.com

【会場地図】 プラザエフ（主婦会館）



主婦会館プラザエフ交通のご案内

- ・ J R 四ツ谷駅 麴町口前（徒歩 1 分）
- ・ 東京メトロ 丸の内線/南北線 四ツ谷駅（徒歩 3 分）

ノーモア・ヒバクシャ記憶遺産を継承する会 宛

FAX : 03 - 5216 - 7757

e-mail : hironaga8689@gmail.com

参加申込書

4. 8 「被爆者運動から学ぶ 学習懇談会」（第 8 回）に参加します。

氏 名	電 話	
	e-mail	
聞きたい、 学びたいと 思うこと		